

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2019/07/01 ～2019/07/31)

1. 勉学の状況

先月でモナシュ大学の方は全ての授業とテストが終わり冬休みに入ったのですが、千葉大学の方の授業はまだ続いていたので、あまり休暇という感じではありませんでした。千葉大学の授業はスカイプを通して受講しており、各自調べ学習を進めることがメインでした。そこで感じたのは、国外から多くの日本の文献にアクセスするのは難しいということです。Google Scholar や CiNii といったサイトを通して文献を集めていたのですが、日本にいた頃と比べると集められる資料の数はかなり減ってしまいました。千葉大学に所蔵されている書籍は勿論、ジャパンナレッジといった辞書・事典や新聞記事のデータベースなど、ほとんどの資料が学内アクセス限定で、とても不便でした。モナシュ大学では学生用・教員用のアカウントを持っていれば学外からでも図書館に所蔵されているほぼ全ての文献をインターネット上で閲覧・ダウンロードできるので、千葉大学もそうならば良いなと切に思いました。留学をしながら千葉大学の授業を受講したり、日本に関係する文献がたくさん必要になる人も必ずいると思うので、突如「全員留学」を目標に掲げ、「留学中でも科目履修が継続出来る教育環境整備等を行ってまいります」と公式サイトで断言しているくらいなのですから、今すぐにでも改善すべきでは？と思います。

今月の最終週からモナシュ大学の方でも後期の授業が始まりました。今期は前期の反省を生かし、早くからペースを掴めるように頑張っています。その甲斐もあってか、今のところは前期の最初ほど授業を苦痛に感じていません。ただ、今期は授業も一つレベルアップしたものを選んだので、今後の課題が厳しいのだと思います。早め早めに普段の勉強をこなして、前倒して課題の作業に入ることが理想です。



至る所にある水道ポイント

2. 生活の状況

先月まで揉めに揉めていた寮の騒音問題ですが、予想外なことに、騒音の原因だった住人達が引っ越していったようで今は静かになりました。良かったです。移転先になる部屋が空かなかったらしく移転はできませんでしたが、今のところは快適に寮で生活をする事ができています。元々同じ寮に住んでいて騒音が原因で違う寮に引っ越してしまった友人がいたのですが、彼女は4月には移転届を提出して、騒音があまりにも酷いことを寮の職員に何度も伝え、5月には引っ越しをすることができたと言っていました。私は騒音に耐えて耐えて6月の最初に届け出をしていたので、もし寮を移転したい、とすぐにでも提出した方が有利だったのかな、と思いました。ただその友人は引っ越した先の寮の環境が良いものの、家賃が高くなってしまったことが悩みだと言っていました。こればかりは運としか言いようがないですが、最初から良い環境の寮に住むことができるのがベストだと思います。

今月分はあまり留学らしい内容で埋められなさそうなので、モナシュ大学がどのような環境なのかをもう少し書いていこうと思います。私が通うキャンパスはクレイトンキャンパスというメインキャンパスで、とても広いです。渡航する前から「とても広いキャンパスだよ!」と言われていたのですが、想像の倍以上広がったです。その広いキャンパスにはいたるところに写真にあるような水飲み場が設置されています。多くの学生はこのようなところで自分の水筒に水を汲み入れて持ち歩いています。日本にいた頃は、水道水を飲み水として飲むなんて貧乏くさい、と思っていたのですが、ここまで設備がちゃんとしていてその習慣が広く普及しているのであれば、あまり違和感は無くなるのだなと思いました。おまけに飲み物代の節約にもなるので結構便利です。季節が移ってもっと暑くなれば水筒がより一層手放せなくなりそうです。またベンチや机も室内外の至る所にあり、そこで勉強している人もよく見かけます。室内であれば、近くにコンセントが設置されていることも多いので、パソコンでの勉強も問題ありません。広いキャンパスのあちこちに勉強ができるスペースが完備されているので、とてもありがたい環境です。